



学校だより

黄 菊

3 月号

令和 8 年 3 月 2 4 日

立川市立第七小学校

校長 島村 雄次郎

《本校の教育信条》『我等は人間 よき人間でありたい』武者小路 実篤先生より

令和7年度を締めくり、次なるステージへ

校 長 島村 雄次郎

校庭の桜のつぼみが膨らみ始め、春の訪れを感じる季節となりました。本日、無事に令和7年度の修了式を迎えることができました。保護者の皆様、地域の皆様には、この一年間、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

先日行われた「6年生を送る会」では、5年生を中心に下級生から卒業生へ、感謝と憧れの気持ちが手渡されました。6年生が一年間、最高学年として示してくれたリーダーシップというバトンは、今、しっかりと5年生へと引き継がれようとしています。

これまで、私が学校経営の柱として大切にしてきたのが、「7小のあいうえお」です。

「あ」は、挨拶。「う」は、運動。「え」は、笑顔。「お」は、思いやり。

そして、その中心にあるのが、「い」の「いのち」です。

音楽会で6年生が披露し、卒業式でも合唱する『僕らはいきものだから』の中に、このような一節があります。

「変わりゆく僕らが美しいのです 息をする僕らが愛おしいのです」

この歌詞が示す通り、一人ひとりの「いのち」が、日々の学びや行事、そして仲間との関わりの中で、心も体も健やかに「変化」していくこと。その成長の姿こそが、何よりも尊く、美しいものです。「あ・い・う・え・お」の取り組みを通して、子どもたちは自らの「いのち」を輝かせ、時には悩みながらも、自分の力で一歩ずつ前へ進む生命力を育んできました。

現在、立川市では「第5次長期総合計画」および「立川市第4次学校教育振興基本計画」に基づき、一人ひとりの多様性を尊重した「未来を切り拓く力」の育成に重点を置いています。

本校においても、今年度は「立川市民科」を核として、教科の枠を超えた横断的な学びに力を注いでまいりました。運動会や音楽会においても、単なる表現活動に留まらず、社会の一員としての自覚や他者との協働を学ぶ「市民科」の視点を組み合わせることで、子どもたちが自ら課題を見つけ、ICTを活用しながら解決策を話し合う場面を数多く創出してきました。

こうした学びを通じて、誰かに「生かされる」のを待つのではなく、自らの意志で考え、判断し、行動できる「生かされないで生きる」主体性が、確実に育ち始めています。

来年度も、この教科横断的な学びをさらに深化させ、変化の激しい時代を自律的に生き抜く力を、全職員で育んでまいります。

最後になりましたが、学校運営協議会の皆様、地域学校コーディネーターの皆様、そして登下校を見守ってくださるシルバーの皆様。皆様の多大なるお力添えにより、子どもたちは安全に、そして充実した学校生活を送ることができました。

明日は、いよいよ第68回卒業証書授与式です。全校の誇りである6年生の門出を、教職員一同、心を込めてお祝いたします。

一年間、本当にありがとうございました。来年度も引き続き、本校の教育活動へのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

■令和8年度 教職員人事異動について

このたびの人事異動により、下記のとおり教職員の異動がありましたので、ご報告いたします。転出・退職される教職員に対し、これまでのご尽力に深く感謝申し上げます。

【転出職員】

校 長	島村 雄次郎	立川市立第八小学校
主任教諭	新崎 順子	八王子市立第七小学校
主任教諭	臼田 雪子	立川市立大山小学校
教 諭	中村 未幸	国立市市内小学校
養護教諭	鳥海 あさひ	立川市立若葉台小学校
用務主事	勝見 真之	立川市立第十小学校

【退任】

学校支援員	佐藤 あずさ
学校支援員	脇 淳美
産休代替	畔蒜 貴大
A L T	Hideki Harasaki

【育児休業】

主任教諭	高宮 吏子
主任教諭	高橋 晴菜



※ 学校だより・学年だよりはホームページからもご覧になれます。下記QRコードからアクセスしてください。



〈七小 HP〉



〈学校・学年だより〉

4月当初の主な予定								
6	月	始業式 水曜時程 キラリ希望者面談(始)		4	4	4	4	4
7	火	入学式準備④(5・6年) 水曜時程		3	3	3	4	4
8	水	入学式(14:00開始) 水曜時程 身体計測(4~6年)	2	4	4	4	4	4
9	木	安全指導 給食始(2~6年) 1年生集団下校始	3	5	5	5	5	5
10	金	身体計測(2,3年) 委員会活動⑥(5~6年) 1年集団下校終 ことば保護者会 キラリ希望者面談(終)	4	5	5	5	6	6